

# 「ひきこもり経験者の体験談」

ひきこもりは、生活困窮やいじめ、リストラといった問題から身を守ろうとする、誰にでも起こり得る社会全体の課題です。では、人がひきこもり状態になった時、当事者はどのように考えておられるのでしょうか。親や社会に対して、どのようなことを願っておられるのでしょうか。

研修会前半は、基調講演として、ひきこもり経験があり、社会福祉法人恩鳥福祉会で障害のある方の生活支援員をされている糸井 博明氏をお招きし、ご自身の体験談を語っていただきます。会の後半では、会場におられる皆様から質問をお受けしお答えいただきます。

多くの方々にご参加いただき、ひきこもりの知識、理解を深めていきたいと考えています。

1. 日 時 令和6年10月25日（金）  
午後2時～午後4時（受付は午後1時30分～）
2. 会 場 キャンパスプラザ京都 4階 第2講義室  
（京都市下京区東塩小路939 JR京都駅から約徒歩5分）
3. 内 容 **【基調講演】**  
○「ひきこもり経験者の体験談」  
経験者：糸井 博明氏（社会福祉法人恩鳥福祉会 生活支援員）  
**【質疑応答】**
4. 対 象 市町村や指定相談事業所（障害）、社会福祉協議会、地域包括支援センター、福祉事業所等の職員及び民生児童委員、京都府こころの健康推進員、ひきこもり支援に興味関心のある方、ひきこもり当事者、家族等  
※お問い合わせは、京都府家庭支援総合センターひきこもり支援担当まで  
※お申し込みは、電話、下記のQRコード、裏面のFAXまたはメールでお申込みください。  
電話 （075）531-5255（9時～16時）  
QRコードアドレス：  
<https://forms.office.com/r/e51wXj4SNA>

「令和6年度ひきこもり家族研修会  
（第6回ひきこもりを支える家族教室）」  
申込



# 令和6年度 ひきこもり家族研修会 参加申込書

下記の項目を記入し、Faxまたはメールでお送りください

【締切】令和6年10月18日(金)

●京都府家庭支援総合センター ひきこもり支援担当

<Fax 075-531-9610 > <メール team-kizuna@pref.kyoto.lg.jp>

令和6年 月 日

氏名	お住まいの市町村	所属・職種	電話番号	参加希望日

## 講師プロフィール



### 糸井 博明氏

1974年、京都府宮津市生まれ。家庭内不和をきっかけに14歳から31歳まで17年間自室にひきこもる。

SOSの手紙がきっかけとなり、医療や福祉制度、様々な人との出会いと信頼（成長）を通じて、2023年4月より丹波市内の障害者支援施設に勤務。2024年3月には自らの半生を記した書籍を出版し、自らの体験を社会に還元する活動にも取り組む。

「出典：株式会社 毎日新聞社」

## 会場案内図

